

広報 いずみの

KOUHO
IZUMINO

平成 22 年創刊

連日暑い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。今回は当施設の大きな特徴でもありますリハビリテーション、特に言語聴覚士にスポットを当ててみました。

スタッフ紹介シリーズ第1回「言語聴覚士の紹介」

言語聴覚士とは、聞くこと・話すこと・食べること（嚥下機能）に障害のある方々に対して、医師をはじめ他の職種と連携しながら、リハビリテーションを行う専門職種です。1997年9月に国家資格になりました。

言語聴覚士が対象とする領域は ①コミュニケーションの問題（聞こえや話すことの障害）に対する訓練、支援。②飲み込みの問題（ムセや誤嚥など飲み込みの問題、食事全般の問題）に対する訓練・支援。③高次脳機能の問題（記憶、注意、実行機能、言語など高次の機能）に対する訓練・支援。その他に、コミュニケーション障害、摂食嚥下障害などへの理解を深める啓蒙活動や、失語症友の会のようなことばの障害を持った方々の社会参加の支援なども行っています。

言語聴覚士の7割以上が医療機関で働いています。福祉施設、介護施設、学校教育の分野などにも活躍の場は広がっていますが、この広がりの中で資格者の数はまだ不足していると言われています。

言語聴覚士はことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるように支援する専門職種です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。

ことばによるコミュニケーションの問題は脳卒中後の失語症、聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害など多岐に渡り、小児から高齢者まで幅広く現れます。言語聴覚士はこのような問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施し、必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行います。このような活動は医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士などの医療専門職、ソーシャルワーカー・介護福祉士・介護支援専門員などの保健・福祉専門職、教師、心理専門職などと連携し、チームの一員として行います。言語聴覚士は医療機関、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で活動し、コミュニケーションの面から豊かな生活が送れるよう、ことばや聴こえの問題をもつ方とご家族を支援します。（言語聴覚士 太田眞嗣）

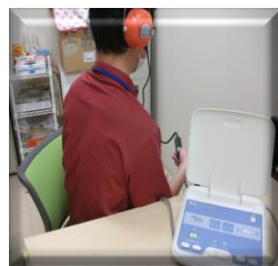


ホームページもご覧ください

老健いずみの

検索

介護療養型老人保健施設 いずみの
〒386-1106 上市市小泉 72-1
Tel.0268-26-6600 Fax.0268-26-6615
通所リハビリテーションいずみの
Tel.0268-26-6650
いずみの居宅介護支援事業所
Tel.0268-26-6680
訪問看護ステーションやまびこ
Tel.0268-26-6640
鹿教湯病院訪問リハ塩田出張所
Tel.0268-26-6625



左から、嚥下訓練に使用する道具、会話支援ノート、聴力検査機器などなど、このような器具を用いて言語評価・訓練を行っています。

入所階のレクリエーション

ヘルスプロモーションってなに？

いずみの中では、利用者が生活の中で楽しみながら心身機能の維持・増進が図れることを目的に、ヘルスプロモーションを提供しています。

月曜から金曜までの午前10時半から30分間、けやき・さくらの各フロアで実施しており、内容は体操や身体を動かすゲーム、脳を活性化させるゲームなどです。曜日毎に内容を決め実施し、参加利用者の反応などを評価して、2か月ごとに内容を変えています。また、週間予定表をフロアに掲示し、利用者に内容が分かるようにしています。

チームで競い合うゲームでは、皆さんいきいきとした表情で勝ち負けにこだわり、「もつと頑張つて！」など利用者同士声を掛け合い、熱中し取り組まれています。

今後も、利用者が楽しんで取り組めるヘルスプロモーションを提供できるように、内容の充実を図っていきます。

(ヘルスプロモーション係 堀内愛)

	月	火	水	木	金	土	日
内容	風船バレー	思い出カルタ	お茶会上映会	コロコロカーリング	体操 & 歌	お茶会上映会	カラオケ
効果	腕・肩の運動	脳の活性化		集中力アップ	心身のリフレッシュ		心身のリフレッシュ



いずみのファーム便り



入所されている方々にご指導いただき、今年は早めにジャガイモやサツマイモを植えました。秋には収穫を迎えおいしく頂く予定です。



編集後記

いずみの祭のお知らせ

8回目を迎えるいずみの祭が9月10日(日)に開催されます。多くの来場者に楽しんでいただけるような企画を用意してお待ちしています。

J A信州うえだ上田西支所にて J A祭も同時開催。